

(様式2)

平成28年度 施設指定管理者
モニタリングレポート(年次評価報告書)

施設名	北部児童館
指定管理者名	(株)日本保育サービス
指定期間	平成27年4月1日 ~ 平成32年3月31日 (2年目)
所管課	児童福祉課

1 業務履行の確認・評価

適正な施設の運営・維持管理が行われているか。	年次評価												
	A												
<p>【施設の運営に関する基本的事項】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 指定管理2年目となり、落ち着いた管理体制で運営できている。・ 来館者実績については下記の通りとなっており、少人数ながら幼児・小学生ともに増加。年間延べ来館者実績も指定管理者制度導入以前のH26年度実績4,995人に対し、5,644人と大幅に増加している。 <table><tr><td>前半期</td><td>対前年度比</td><td>113%</td><td>(1日平均 18人)</td></tr><tr><td>後半期</td><td>"</td><td>134%</td><td>(1日平均 20人)</td></tr><tr><td>年間</td><td>"</td><td>123%</td><td>(1日平均 19人)</td></tr></table> <p>【自主事業に関する事項】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 栄養士によるクッキングや秋祭りを実施。周囲の環境や館庭を生かした伸び伸びとした遊びを展開することができる。 <p>【施設の維持管理業務に関する事項】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 館庭が広く自然が豊かな立地に対し、子ども達が戸外で遊びやすいよう毎日除草作業を行うなど、環境整備が徹底されている。・ 経年劣化対策として、集会室カーペット張替や屋外水道蛇口の水漏れ対応を実施。来館者からの要望に応えた対応が適切にされている。		前半期	対前年度比	113%	(1日平均 18人)	後半期	"	134%	(1日平均 20人)	年間	"	123%	(1日平均 19人)
前半期	対前年度比	113%	(1日平均 18人)										
後半期	"	134%	(1日平均 20人)										
年間	"	123%	(1日平均 19人)										

2 サービスの質に関する評価

年次評価

提供するサービスの水準が確保されているか。
また、サービスの向上が図られていたか。

A

【利用者アンケート(満足度調査)に関する事項】

調査の概要

- ・ 前半期と後半期に来館者アンケートを実施。

調査結果の概要

- ・ サービスの質の評価については、おおむね良好な回答。アンケートで寄せられた意見に対し、その都度、対応努力がされている。
- ・ 職員の対応において、不満とする回答が少数ながらあるものの、老朽化している施設でも、清掃管理などに関して、おおむね満足との結果であったりと日々の職員の丁寧な管理対応がうかがわれる。

【自主事業に関する事項】

- ・ 栄養士によるクッキングや秋祭りを実施。周囲の環境や館庭を生かした伸び伸びとした遊びを展開することができている。
- ・ 小学校の校内放送や子育て支援センターで事業PRしてもらえるよう働きかけを行ったり、PR面でも努力と工夫がみられる。
- ・ 畑があることや小規模であることの特徴を生かしたアットホームな独自事業の取り組みを今後、より一層期待したい。

【サービス水準や利用環境に関する事項】

- ・ 設備面などの対応困難な事柄を除き、アンケートの意見を反映した対応を実施している。
- ・ 来ると「ほっとする」と思ってもらえる児童館運営を目標に、アットホームな雰囲気地域に根ざした運営を安定した職員体制のもとで実施している。

3 サービス提供の継続性・安定性に関する評価

健全な収支状況のもと、継続的・安定的にサービスが提供されているか。 また、団体の経営状況は健全か。	年次評価
	A

<p>【施設の収支状況に関する事項】 2施設共通事項</p> <p>①指定管理料 26,250,000円 ②本部経費 6,000,000円含む北部児童館年間支出＋中央児童館年間支出 25,007,746円 ①-② = 1,242,254円の黒字である。</p> <p>【団体の経営状況に関する事項】 2施設共通事項 (株)JPホールディングスの経営状況の分析</p> <p>・売上高の推移は178億6千8百万円、205億5千2百万円、228億円と順調である。 ・総利益は30億2千3百万円、36億5千4百万円、37億4千6百万円、営業利益は14億3千1百万円、18億3千4百万円と推移して、29年3月期には12億6千3百万円と前年対比、5億7千万円の営業利益が減少している。 ・税引き後の利益については、10億3百万円、11億9千5百万円と増加しているものの、29年3月には6億7千7百万円と税引き後利益は前年対比半減している。特別損益の部において、前期8千3百万円、当期3億9千1百万円の減損損失が生じており気になるところ。これに関する資料は示されていないが、園移転による減損損失か。税引き後利益の範囲内であるから直に企業体質に大きな影響はないと考えられる。 ・賃借対照表を見てみると資本金16億3百万円に対して利益剰余金は50億3千7百万円であり財務体質に問題はない。</p>

総合評価	A	<p>【審査委員会コメント】</p> <p>来館者アンケートのニーズを反映した対応や独自性のある環境を生かした取り組みを行う等の工夫により来館者実績も伸び、安定した管理運営を行うことができている。より広がりのある独自事業も今後実施できるとよい。</p>
------	---	---

【年次評価】 (評価基準)

- S (優 良) : 区分評価が全てA以上、かつSが過半数以上。
- A (良 好) : 区分評価が全てA以上。
- B (課題あり) : 区分評価にBがあった。
- C (要改善) : 区分評価にCがあった。

【総合評価】 (評価基準)

- S (優 良) : 市の要求水準を上回るサービスが提供されている。
- A (良 好) : 市の要求水準に沿ったサービスが提供されている。
- B (課題あり) : サービスの内容の一部に課題がある。
- C (要改善) : サービスの内容に改善が必要である。

(目安)

- 年次評価が全てA以上、かつSが過半数以上。
- 年次評価が全てA以上。
- 年次評価にBがある。
- 年次評価にCがある。